



山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



▲鏡割りをして新年を祝う栗山理事長たち

「更なる結束」を呼びかける

栗山理事長

新年互礼会に組合員、来賓70人出席

当組合の新年互礼会は、2020年1月7日（火）流通会館展示場で開かれ、組合員・来賓合わせて約70人が出席した。

冒頭、栗山理事長は昨年の取り組みに触れ、「当組合は組合員企業が安心して事業活動ができる安全・安心な街、企業活動に最適なまちづくり』を目標に掲げ運営を行い、①ガソリンの備蓄、街路灯のLED化、防犯カメラの入れ替え・ライブカメラの新設を行った。②昨年度の理事会で組合会館の移転新設の検討が承認され、卸商業団地機能向上支援事業の助成金を申請し建築検討の専門委員会を立ち上げ2年計画で現在協議中である。③昨年は水害が多発

して、全国卸商業団地連合会加入の協横浜マーチャングライディングセンター、協須賀川卸センターほか水害により、一部壊滅状態で1ヵ月ほど手が付けられない状態であったことを通して、当組合も災害が最小限になるように努力をしなければならない。」と述べ、今後更に発展するために、すべての組合員の理解と協力を求め、更なる結束を呼びかけた。

来賓として、山梨県産業労働部小林次長、中央市田中市長から祝辞を頂いた。祝辞に続いて栗山理事長、来賓11人による鏡開きが行われ、参加者全員で新年を祝い合った。

センターでバザール 20回目の開催

9月7日

早朝から夕方まで大いににぎわう

第20回「センターでバザール」が、2019年9月7日（土）に流通会館で開かれた。今年は朝から暑いほどの好天となり、開場に先立つ7時頃から流通会館展示場入り口には例年以上の長蛇の列ができた。

イベント会場では、海外旅行やテーマパークペアチケットをはじめとした豪華な景品が当たる大ビンゴ大会や〇×クイズが催され、多くの参加者で盛り上がった。また、今年は中央市立田富中学校の合唱部が初参加し、イベント会場に綺麗な歌声を響かせた。

会館内の物販コーナーには15社が提供する衣料品靴、バッグ、傘などの身の回り品から、お菓子、パ

ン、ゼリーなどの食料品まで幅広い商品が並べられていたが、用意した商品を午前中に完売してしまう組合員もあり大盛況となった。

企業従業員からご提供いただいた遊休品を販売するバザーブースでの売り上げ金は全て「赤い羽根共同募金」へ寄付し、10月4日には当組合応接室で贈呈式が開かれた。

年々来場者が増加傾向にある「センターでバザール」も昨年で20回目を迎えた。これからも地域の皆様に楽しんでいただけるようなイベントとして続けられるよう努力したい。



出席者68人懇親深める

納涼懇親会

テーブル名は夏の季語

2019年度の納涼懇親会が7月26日（金）ベルクラシック甲府で開かれた。今年度も多くの来賓を招き、組合員、準組合員、来賓、事務局含めて68人が出席し、終始にぎやかな会となった。

今年は夏の季語をテーブル名とし、「赤富士」のほか10卓が並んだ。

開会にあたり栗山理事長があいさつし、50周年特別委員会や組合会館移転新設にむけた団地再整備特別委員会など、組合の将来について話された。

来賓を代表して山梨県産業労働部中澤和樹部長と中央市田中久雄市長から祝辞をいただき、乾杯の発声を出発して山梨県中小企業団体中央会細田幸次会長から頂いた。出席者たちはおいしい料理と旨い酒を楽しみながら歓談し、懇親をさらに深めた。



新組合会館建設に向けて始動

団地再整備
特別委員会

50周年に向け大きく踏み出す

団地再整備特別委員会（委員長 中込裕氏）は、2019年度から2021年度2月まで卸商業団地機能向上支援事業を活用し組合員及び組合施設が建築後42年経過し、耐震性能や老朽化などの問題の改善を図り、これまでに実施してきた安全・安心を守る集大成としてさらなる機能向上を図る目的として旧新峰建物を建替防災機能を備えた地域との一体感を共有できる組合会館の再整備を実施することとなった。委員会は組合員12人、外部専門家・オブザーバー8人、コンサルタント3人の合計23人で委員会10回、実施調査視察2回、理事會報告会2回、全体報告会1回を予定している。すでに、第1回から第3回までの委員会を実施した。

第1回委員会（2019年8月21日）

業務委託先を阪急コンサルサルトマネジメントに選定した。再整備事業の検討にあたり事業の目的及び概要を確認、約2年間のスケジュールを検討した。その後、外部専門家 山梨県経営者協会参与 小林隆二氏による県内経済情勢の講義を実施し、中部横断自動車道開通により、静岡方面からの企業が東南海地震のリスクから山梨県への移転の可能性を示唆した。その受け入れとしても、防災機能を備えた新組合会館を建設することは広告塔としても有益なことであると考える見解を示した。

第2回委員会の内容（2019年10月23日）

再整備事業の検討を実施、中央市のハザードマップから見る当団地の抱える自然災害リスクについて考察防災拠点機能として考えられる設備等をコンサルタントより提示があり確認した。その他、県外の市町村で実施している防災計画、防災機能を備えた建物の事例を考察した。既存の組合会館の建物平面図、設備を確認し、旧新峰跡地に建設する建物パース図面から概略の建物サイズについてイメージを検討。ヒアリング調査について検討したが、次回会議時に、アンケートを詳細に示し、再度検討することとなった。他、高崎卸商社街協同組合、協同組合熊谷流通センター、協同組合川越バンテアン実施調査報告を行った。

第3回委員会の内容（2019年12月17日）

組合員・会館利用者アンケートについて検討、1月中旬頃から2月初旬頃までにアンケートを実施し、取りまとめることとした。新組合会館建物計画について3案のパースイメージにより検討した。



▲第1回委員会の様子



▲高崎卸商社街協同視察・実施調査



▲協熊谷流通センター視察実施調査



▲協川越バンテアン視察・実施調査

むろいチームが上位を占める

ボウリング大会に51チーム出場

第23回目を迎えた流通センターボウリング大会は2019年6月11日・14日・25日・26日の4日間予選大会、7月9日決勝大会が、甲斐市の大統スターレーン双葉で行われた。

参加チーム数は18社、51チームと昨年より少し減少したが、7月9日の決勝大会には、17社24チームが進出し熱戦となった。

むろいDが優勝し、準優勝はむろいAで、3位はマルモAとなった。

個人の部は、伊藤明里さん（むろいA）が2ゲームトータル395で優勝となった。

上位（3位まで）の結果は次の通り。

団体の部（2ゲームトータル）

順位	会社名	メンバー	スコア
優勝	むろいD	笹木、清水、望月、古屋	1296
準優勝	むろいA	菊池、入倉、風間、伊藤	1288
3位	マルモA	神田、穂山、廣瀬、小林	1143



団体優勝



団体準優勝

個人の部（2ゲームトータル）

順位	氏名	会社名	スコア
優勝	伊藤明里	むろい(株)	395
準優勝	清水由佳	むろい(株)	395
3位	雨宮郁朗	(株)吉字屋本店	344

※優勝者／準優勝者は同スコアだが、ハンディキャップによる



個人優勝

団体の部優勝はマルモA

北ブロック懇談会 ボウリング大会

個人トップは大堀幸さん

11月8日（金）、北ブロック懇談会ボウリング大会が甲斐市の大統スターレーンにて行われた。北ブロック懇談会に所属する8社20チームより79人が参加し、大いに盛り上がりを見せた。

今年は、マルモAが優勝、マコト医科精機Aが準優勝、甲信食糧Bが3位という結果だった。

個人では、大堀幸さん（中央物産）がスコア365（2ゲームトータル）で優勝した。

上位（3位まで）の結果は右の通り。

団体の部（2ゲームトータル）

順位	チーム	メンバー	スコア
優勝	マルモA	神田、穂山、廣瀬、小林	1312
準優勝	マコト医科精機A	川窪、堀内、林、有泉	1185
3位	甲信食糧B	中込、秋山、遠藤、逸見	1101

個人の部（2ゲームトータル）

順位	氏名	チーム	スコア
優勝	大堀幸	中央物産B	365
準優勝	穂山進一	マルモA	364
3位	赤坂英紀	甲府情報システムB	359

外国人観光客の利用増える

キャッシュレス決済 国内にも普及の時代対応へ

定例懇談会が2019年8月1日に開かれ、組合員37人が出席した。講師は、NTT東日本山梨支店ビジネスイノベーション部マーケティング担当主査西島秀和氏で、「キャッシュレス決済動向とサービス」について講演を行った。

今なぜ、キャッシュレス決済なのかについて、西島氏は①外国人観光客の増加、②国内利用者の増加、③政府によるキャッシュレス化の推進が関係していると説明した。国別での決済比率をみると日本の約50%が現金決済なのに対し、訪日外国人の現金利用は約20%で、約50%以上がクレジットカードやQRコードで決済を行っている。その波を受け、国内でも数多くのQRコードの決済サービスが誕生し、国内のキャッシュレス決済利用者が増加するという。さらに政府も消費の利便性向上・活性化のために『キャッシュレス・消費者還元事業』（2019年10月～2020年6月まで）を立ち上げた。

以上の流れを踏まえて、様々なキャッシュレス決済に対応できるサービスについてデモ実演をし

ながら、そのスピーディーさと管理のしやすさについて説明した。また、いずれにしても運用には適切な通信環境が必要とし、Wi-FiやSIMカードの用意についても強調し、締めくくられた。



キャッシュレス決済時代について講演する西島秀和講師

人間性の魅力鍛えよう

社員研修会

北宏志講師が強調

2019年9月27日、中央市商工会・当組合共催の社員研修会「結果を出せる営業力強化セミナー～できる営業パーソンをめざせ～」が流通会館で開かれ、16人が参加した。

講師は(株)ポールスターコミュニケーションズ代表取締役北宏志氏。北氏は「21世紀は感情・エモーションの時代でいかに共感してもらえるか」を述べた上で、自分自身を差別化し、自画絶賛を習慣化させることで、魅力ある人間性を作り上げることが大切だと強調した。

また、北氏が中国の営業で得た経験や、名刺500枚大作戦など具体的な話を聞くことができ、参加者にとって営業の意識が変わる研修会となった。



放水訓練から、応急手当まで展開

第2回総合防災訓練 BCPチーム中心に100人参加

第2回総合防災訓練が、2019年11月13日（水）、流通会館前駐車場及び流通会館展示場を使って行われた。参加者は、組合役職員、組合従業員、甲府南消防署田富出張所署員、救急隊員、消防設備業者、事務局員合わせて約100人となった。訓練は、細田総務委員長をリーダーとしたBCP対策チームが中心となって実施された。

参加者は、8：50の緊急地震速報のあと、栗山理事長による災害対策本部の設置宣言、確認メール発信と返信、東西南北ブロック毎の参加人員確認の一連の流れのもとに集合したあと、開会式を行い、訓

練開始となった。

訓練は、全員による水消火器を使った初期消火訓練、代表者15人で会館屋内消火栓からの放水訓練を行ったあと、今年新たに設置したコンテナ2基を使った防災倉庫を見学し、展示場で三角巾を使用した応急手当訓練を行った。この一連の流れについて消防署員から講評を受けた。その後、炊き出しの訓練を実施し、参加者は大型なべで湯煎された保存用ライスやコロッケ、みそ汁などを試食し、解散となった。

緊急時に迅速な対応ができるよう、当組合ではこのような総合防災訓練を続けていきたい。



▲総合訓練の開始を伝える 栗山理事長



▲参加者の放水訓練

AEDの実技訓練受ける

普通救命講習会に20人が参加

普通救命講習会が2019年7月3日（水）、12日（金）の両日、流通会館で開かれ、20人が参加した。

受講者たちは、心肺蘇生法とAEDの使用方法等について学び、AEDを使用した救命処置の実技訓練を受けた。

また講習では、119番へ実際に連絡をする「通報訓練」も行った。受講者が消防本部に通報し、通信司令員の指示のもと、周囲の状況、傷病者の状態を伝えた。通報時、心肺蘇生法のやり方がわからなかった場合でも、通信司令員から電話を通じて、救命処置の指導を受けることができるため、受講者は司令員の指示のもと救命処置を行うことができる。

今回学んだ救命処置をいざというときに役立て、「救命のリレー」をつなげられるようにしてほしい。



営業力アップへ3社6人研修

営業力強化セミナー

(株)学宣小林徹講師が指導



営業初心者のための営業力強化セミナーが2019年7月20日・27日に開かれ、団地内から3社6人が参加した。

(株)学宣から小林徹氏を招き、グループワークやディスカッションを通して、営業職としてお客様へのアプローチをどのように進めていくのかを学んだ。また小林講師が営業時代に体験したこともお話いただき、リアルな目線から営業力を学べるセミナーとなった。

今回学んだことを実務に生かし、是非とも自らの営業力を磨く糧としてほしい。

答えを引き出す手助けを

指導力強化セミナー

コーチング技法伝授される

指導力強化セミナーが2019年9月21日・28日に開かれ、団地内から3社5人が参加した。

(株)学宣から梅澤政久氏を招き、相談事例やロールプレイングを通し、対話によって相談者の自己実現や目標達成を図るコーチングと呼ばれる技法について学んだ。コーチングはカウンセリングやティーチングと違い、相談者自身が考え気づかせることを促し、指導者は答えを引き出す手助けとなるのが大事なのだという。

受講者は、コーチングスキルを常に考え、今後の

人材育成に役立ててほしい。



グループワークでフォローアップ

新入社員再研修

半年間の仕事を振り返る

新入社員フォローアップ研修が2019年10月3日(木)・4日(金)に、流通会館大会議室で開かれ、5社から7人が参加した。

講師はコミュニケーション・アカデミーの鬼塚啓介先生。今回は4月に行われた新入社員研修から半年が経過したことを踏まえて、自己の振り返りを中心にビジネスマナーの再チェックや問題解決の基本等を学び、レベルアップと今後のモチベーションアップを図ることを目的に行われた。

研修はグループワーク中心で行われ、問題解決の方法を学び議論したり、訪問マナー等のロールプレイングを実施したりと、実践的な内容であった。

参加者たちからは、「半年間を振り返り、自分の

業務姿勢や考え方を見直すべき点などを見つけることができた」、「普段考えなかった意識や感性などを学ぶことができた」、等の声を聴くことができ、有意義な研修となった。



役割や期待に応える行動学ぶ

中堅社員訓練

コミュニケーション能力アップも

組合員企業の将来を担う社員を対象とした中堅社員訓練が2019年11月13日・14日・20日・21日に開かれ、2社から8人が参加した。

山梨県職業能力開発協会から講師の山田圭太氏を招き、中堅社員としての役割や組織からの期待に応えられる行動について学習した。中堅社員は上司の補佐役になったり、部下に対してリーダーシップをとったりと、社内のバランスをとる重要な立場にあり、良好なコミュニケーション能力が必要だという。

研修では、仕事のサイクルとして重要なPDCAや能力向上のための自己啓発について学び、中堅社員としての役割を果たすための有意義な講義となった。



日頃欠かせぬフォークリフト操作術

扱い方、4日間みっちり講習

後期フォークリフト運転技能講習会が2019年11月16日・17日・23日・24日の4日間、湯村自動車学校で開かれ、3社から3人が参加した。

来年度も6月と11月に講習会を予定しているので必要な方は後日事務局から案内文を発信いたしますので、お申込みください。



ディズニーランドへ家族旅行

親子中心に35人が参加

組合員・準組合員従業員とそご家族を対象にしたディズニーランド日帰りバスツアーを2019年6月22日（土）に実施した。今年で第4回目となり、9社から35人と多くの方が参加し、にぎやかなツアーとなった。

雨が降るあいにくの天気であったが、参加者は家族や友人、同僚と夢の国を満喫した。

来年度も今年度同様のツアーを計画しているのでぜひ、ご参加ください。



おいしい食事86人が楽しむ

社員交流会

ゲームも大いに盛り上がる

第9回社員交流会（小林愛直運営委員長）が2019年12月6日、流通会館展示場で開かれ、86人が参加した。

今回は(株)富士メディカルサービスのおいしい食事とタピオカドリンク、そして世界のチーズ9種やラクレットチーズを用意した。ラクレットチーズの提供が始まると、その周りには多くの人が集まり、各々好きな料理にチーズをかけて、食事を楽しんでいた。

運営委員が企画したイベントは、スプーンやお玉でピンポン玉のリレーを行う「ピンポン玉ゲーム」や、チームの代表者がリッツとコーラの早食いをする「リッツ&コーラゲーム」、体内時計で10秒を計る「ストップウォッチゲーム」を行った。

昨年に引き続き企画した「名前でビンゴ」は、今年も大いに盛り上がり、名前が呼ばれるたびに大きな歓声が沸いた。

今後も新しい企画を取り入れながら、皆が楽しめるイベントを行っていきたい。



エコー検査も行われ、686人受診

健康診断 結果を無視せず健やかに

集団健康診断は、2019年7月22日～26日までの5日間、流通会館で実施され、45社から686人が受診した。

今年度からAコース、Bコース、Cコースの検診者でもエコー検査を選択できるようにした。

今回の健康診断の結果を無視せず、自身の健康のために役立ててほしい。



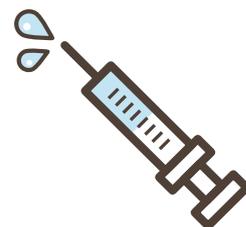
接種人数500人上回る

組合ぐるみ「インフルストップ」

インフルエンザの流行に備えて、流通会館で2019年10月29日・30日・31日、市川メディカルクリニックで11月1日・6日に、組合員・準組合員企業の従業員とその家族を対象にインフルエンザ予防接種を行った。

今年度の接種人数は540人で、昨年度の466人を大きく超える申し込みがあった。

インフルエンザによる被害を最小限に食い止めるためにも、予防接種と合わせて、手洗いうがいも徹底し、予防に努めましょう。



組合員変更事項

会社名	変更前	変更後
㈱渡辺商店	社長 渡邊 一	社長 前田雅由
㈱富士メディカルサービス	社長 前田治基	社長 前田大治郎
日新厨房企画(株)	社長 小林 光	社長 内田誠一
㈱あらた	社長 畑中伸介	社長 須崎裕明

組合員の加入・脱退

会社名	加入・脱退別	住 所
㈱勝沼運送	加入	流通団地3-3-2
㈱環境管理コンサルタント	脱退	流通団地1-6-1
㈱アースエステート	加入	流通団地1-6-1

準組合員の加入・脱退

準組合員名	加入・脱退別	住 所
㈱K F Kファクトリー	脱退	流通団地2-7-1
㈱勝沼運送	脱退	流通団地3-3-2
拓大運輸(有)	脱退	流通団地3-6-3
山梨貨物自動車(株)	加入	流通団地3-6-3

『事務局日誌』

～7～1月の主な会議等～

- ◆7月 2日 正副理事長会議
3日 AED講習会
4日 廃蛍光管収集
9日 ボウリング大会決勝
12日 リサイクル・一斉清掃日
12日 AED講習会
12日 南ブロック懇談会
16日 東ブロック懇談会
19日 北ブロック懇談会
20～ 職業訓練 営業力強化セミナー
22～26日 集団健康診断
24日 LoMAの会例会
27～ 職業訓練 営業力強化セミナー
- ◆8月 1日 定例懇談会
6日 正副理事長会議
9日 リサイクル・一斉清掃日
19日 LoMAの会パワーディナー
21日 団地再整備特別委員会
- ◆9月 3日 正副理事長会議
7日 センターでバザール
12日 リサイクル・一斉清掃日
14～15日 山梨・静岡組合青年部交流会
(LoMAの会)
18日 団地再整備特別委員会(3団地視察)
21日 職業訓練 指導力強化セミナー
25日 研修・厚生委員会、ソフト主将会議
26日 総務委員会
27日 社員研修会(商工会との共催事業)
28日 職業訓練 指導力強化セミナー
- ◆10月 1日 正副理事長会議
3～4日 新入社員フォローアップセミナー
4日 赤い羽根共同募金贈呈式
15日 リサイクル・一斉清掃日
18日 北ブロック懇談会
23日 団地再整備特別委員会
28日 LoMAの会例会
29～31日 インフルエンザ予防接種
- ◆11月 8日 北ブロック懇談会 ボウリング大会
12日 リサイクル・一斉清掃
13日 総合防災訓練
13～21日 中堅社員訓練
16～24日 フォークリフト運転技能講習
24日 LoMAの会ゴルフコンペ懇親会
29日 南ブロック懇談会忘年会

- ◆12月 3日 正副理事長会議
6日 社員交流会
10日 東ブロック懇談会忘年会
13日 北ブロック懇談会忘年会
17日 団地再整備特別委員会
- ◆1月 7日 新年互礼会
7日 正副理事長会議
17日 理事会
17日 役員新年会
24日 LoMAの会新年会

かいがね

「働き方改革」とは「一億総活躍社会」実現に向けた最大のチャレンジと言われる。厚生労働省のホームページには、《我が国は「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」、「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面し～(中略)～働く方の個々の事情に応じ働き方が選択できる、より良い将来の展望を持てる社会を目指しています》とある。

これは要するにどういうことなのか。ある大企業のトップは「生産性向上のため」と言う。だとするのなら、そこに「働く人の働き甲斐とは？」への回答はあるのだろうか。「働き方改革」が目標とする「一億総活躍社会」が、まさか「老人から子供までが国や企業のために一生懸命働く社会」ではないだろうが、残念ながら生き生き働ける社会像は見えてこない。

時間を減らし、休みを取り易くする、それが「働き方改革」の実像なのか。真に働き甲斐のある企業将来の展望を持てる社会、とはどういうものなのか。

民間調査会社で調べた「働き甲斐のある会社ランキング」で1位となったあるIT企業の多くの社員は「会社に来るのが楽しみ」と答え、その比率は女性が高いそうだ。この調査で見て取れるのは、社員のコミュニケーションが充実し、企業戦略にまで社員の意見が反映されるなど、社員のモチベーションを上げることに力を注いでいることであり、企業風土や哲学が浸透すれば社員を守ってくれるようになることだ。押し付けるより企業哲学に則った上で働き方の自由度を高める方が良い結果が出た。それが働き方への新しい共通認識を生んだと言う。

私は40年近くを企業で働いてきたが、振り返れば社会人となって10年ぐらいい働き甲斐など思ったこともなかった。只々収入を得るためだったとしか言いようがない。その後、転勤や配置換えなどを経て少しは仕事に興味がわくようになった。思えばそれは、仕事に自分の意思を反映させることが出来るようになったからだ。経営や営業方針などに自分の考えをもち、それが企業活動に反映されていることを実感できるようになったのである。それは、ひとえにその時の上司に恵まれたこともあるのだろう。自分の仕事が企業の業績に結び付くようになり、そうなる仕事で疲れることはあっても、仕事の辛さとか、苦しさを感じることは殆どなくなった。

一番の問題は職場の人間関係だが、その頃の私は自分の仕事に対して多少の自負があったので、その煩わしさにそれほど悩むことなく、むしろそれを俯瞰し冷めた目で見ていられたのかもしれない。

これは私が幸運だったからとも言えるわけだが、確かなことはコミュニケーションを良くし、社員のモチベーションを上げるには経営者や管理職がそのことの重要性を認識し、社員の能力を見出し、それを生かす工夫・努力を怠ってはならないことである。そうであって初めて「働き方改革」が企業に浸透していくことになると思うのだが。

(M)